

<◎-9点, ○-3点, △-1点>

思いやり	向上心	安全性	質の向上	快適な環境	重要性	効果性	経済性	緊急性	合計点	順位	備考
1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			W

- 申し送りが長い
- 申し送りシートが活用されていない
- 患者様のナースコールが多い
- 患者様の忘れ物が多い

○	○	◎	◎	△	◎	△	○	○	41	2	
△	○	○	○	△	○	△	△	○	19	3	
◎	○	◎	○	◎	◎	◎	△	○	55	1	採用
○	△	△	△	△	△	○	△	△	13	4	

- ◎
-
- △

ファイル名：C:\PROGRAM FILES\JUSE\NAVI\THEME\20031122_001\STEP01\テーマの選定.bmp

データファイル名：C:\PROGRAM FILES\JUSE\NAVI\THEME\20031122_001\テーマの選定.MX7

タイトル：

メモ：

<◎-9点,○-3点,△-1点>

	思いやり	向上心	安全性	質の向上	快適な環境	重要性	効果性	経済性	緊急性	合計点	順位	備考
	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			W
申し送りが長い	○	○	◎	◎	△	◎	△	○	○	41	2	
申し送りシートが活用されていない	△	○	○	○	△	○	△	△	○	19	3	
患者様のナースコールが多い	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	△	○	55	1	採用
患者様の忘れ物が多い	○	△	△	△	△	△	○	△	△	13	4	

1.テーマの選定

手順

1.部門課題をブレイクダウン

2.顧客の声は何か

3.テーマの絞込み

4.テーマ名決定

すすめ方のポイント

1. 取り上げるテーマ名をわかりやすく記述します

2. わかる範囲で、活動計画表を作成します

データファイル

新規作成

追加

削除

ファイル名

登録

解析手法

キーノートNo.1

テーマ登録

テーマ名を入力して下さい

患者様のところへ足を運びナースコールを減そう

※テーマ名は「〇〇における△△の××」の形にする

目標を入力して下さい

予測できるナースコールに対して、1日平均38回のナース

OK

キャンセル

課題を進めるためのヒント

1. 《テーマ名を決定》 課題の対象範囲、管

【対象範囲、悪さ加減、改善レベルが

2.現状の把握と目標設定

手順

1.悪さ加減の確認

→ 2.現状調査

3.現象を層別してみる

4.重点課題の絞り込み

5.達成目標を決める

← ステップ1 ステップ3 →

おすすめのポイント

- 悪さ加減を測定することはできますか。過去の実績や記録などを集め、現在の状態を測定します
- 悪さ加減のデータを表やグラフで表わし、傾向や大きさをみます
- データから作業のばらつき(工程能力)を調
- データがない場合はアンケート調査などを計画し、データを収集します
- 該当プロセスが不安定な状態になってないかチェックします

解析手法には
・ヒストグラム
が用意されています

データファイル

新規作成

追加 削除

ファイル名

時間割合:DD7

起動

解析手法

- 円グラフ
- 帯グラフ
- 棒グラフ

キーノートNo.2

課題を進めるためのヒント

🔦 収集したデータに対してグラフ化します。
 グラフにするデータには、個々のデータと項目ごとに集計されたデータがあります。
 何をみたいか、知りたいかによって、グラフの種類を選択し、データ表を作成します。

【推移を見る】	時間による大きさの変化をみるには	折れ線グラフ、棒グラフ
【大きさを比較】	現象の大きさを比較するには	棒グラフ
【内訳を見る】	ある時点の複数項目の内訳をみるには	円グラフ、帯グラフ
【バランスを見る】	複数項目のバランスをみるには	レーダーチャート
【効果の大きいものを見る】	(不具合や原因など)どの項目が多いかを見るには	パレート図
【2つのデータの間関係を見る】	2変量の相関関係を見るには	散布図
【データの内訳を見る】	データの層別(カテゴリ)層別をみるには	層別表、多変量クロス表

ナースコールの実態調査

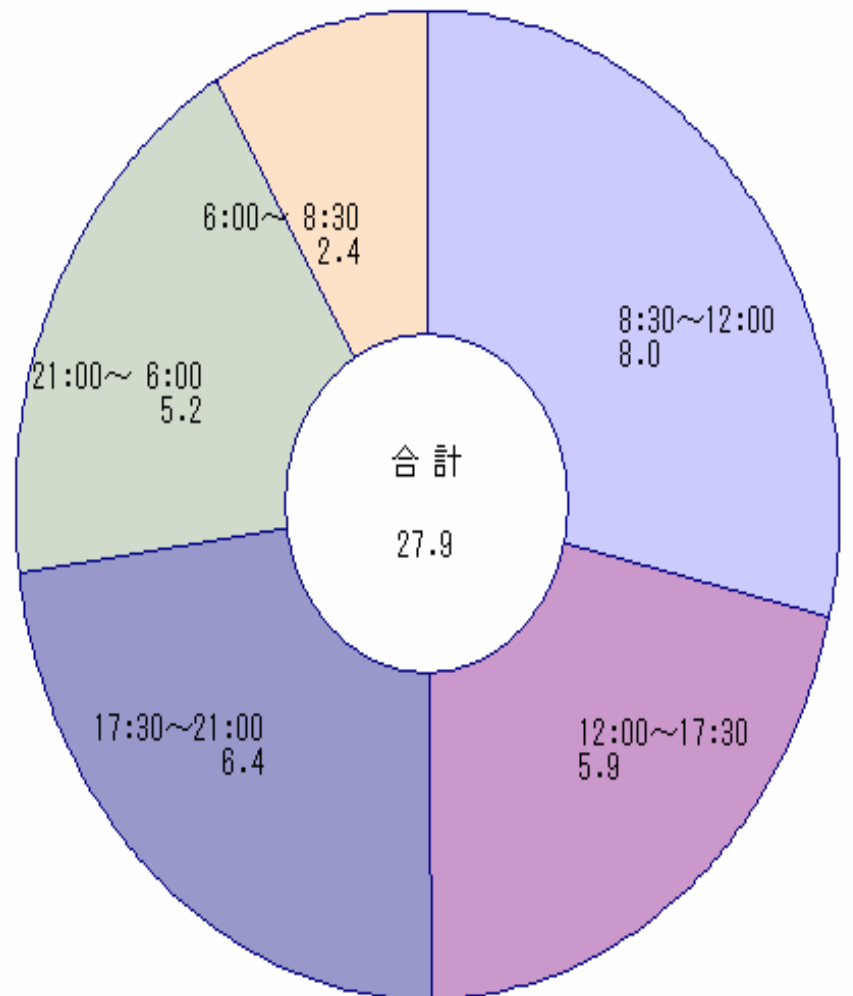
サンプル名	08:30~12:00	12:00~17:30	17:30~21:00	21:00~06:00	06:00~08:30
トイレ	41	54	29	40	33
症状	8	8	7	27	5
食事	5	9	16	0	7
ケア	2	9	3	0	0
点滴	46	34	28	8	8
処置	11	15	9	16	2
間違い	12	7	9	4	5
無言	54	71	47	41	24
その他	18	23	10	17	7



入力項目 8:30~12:00 欠測サンプル解析対象 全データ 100%

円グラフ [8:30~12:00, 12:00~17:30, 17:30~21:00, 21:00~ 6:00, 6:00~ 8:30]


変数2




- 円グラフ
- S/表示グラフ
- W/その他へ
- T/計算表
- C/切り抜き
- P/印刷


3.活動計画の作成

手順

 1.担当者や日程表を含む活動計画表を作る

すすめ方のポイント

 担当者と役割, 活動日程を含む活動計画表を作成します

 必要に応じて, 中間報告書を作成提出します

データファイル

新規作成

追加


削除


ファイル名


活動.AP7


起動

解析手法


 活動計画表

 キーノートNo.3

 ステップ2

 ステップ4

課題を進めるためのヒント

 各ステップの活動日程を活動計画表に記述

【実施項目】 ステップごとの実施スケジュール



【担当者と役割】 全員が役割を持つことが大切!



【テーマの完成期日】 活動報告書の提出時期を明記

※必須項目です。次のステップに進むためには、関連付け(新規作成又は追加)を行ってください

計画 ----->
 実績 ----->

活動計画：患者様のところへ足を運びナースコールを減

実施項目	担当者
テーマの選定	大西
現状の把握と目標設定	野元
活動計画の作成	大西
要因の解析	屋敷
対策の検討と実施	松山
効果の確認	野元
標準化と管理の定着	松山・屋敷

2002/06	07	08	09	10	11
---------	----	----	----	----	----

計画表データの入力

項目数:

表示範囲

自動設定

指定 開始 終了

		計画		実績		
	実施項目	開始日	終了日	開始日	終了日	担当者
1	テーマの選定	2002/06/01	2002/07/15	2002/06/15	2002/07/15	大西
2	現状の把握と目標設定	2002/07/20	2002/09/10	2002/07/20	2002/09/20	野元
3	活動計画の作成					大西
4	要因の解析					屋敷
5	対策の検討と実施					松山
6	効果の確認					野元
7	標準化と管理の定着					松山・屋敷

カレンダー設定

2004年2月


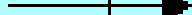
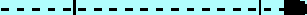
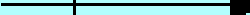



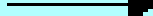


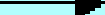
日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	1	2	3	4	5	6

OK キャンセル

活動計画：患者様のところへ足を運びナースコールを減


計画  →
 実績  →


実施項目	担当者
テーマの選定	大西
現状の把握と目標設定	野元
活動計画の作成	大西
要因の解析	屋敷
対策の検討と実施	松山
効果の確認	野元
標準化と管理の定着	松山・屋敷


2002/06	07	08	09	10	11	12
						
						
						
						
						
						
						
						


4. 要因の解析

手順


 1.現場・現物を深く観察


 2.特性と要因の関係図

 3.データで分析する

 4.真の原因を検証したか

おすすめ方のポイント

 悪さ加減に影響する要因をリストアップします

 挙げた要因をグループ化し、ビジュアルに整理します

データファイル

新規作成

追加

削除


ファイル名


特性要因図.FB7
tokusei.DOC


起動

解析手法


 特性要因図

 キーノート No.4

 ステップ3

 ステップ5

課題を進めるためのヒント

 《まず特性を決める》:

【問題を具体的な“悪さ加減”で表現する】

問題解決に当たっては不良率などの表現よりも、不良の状態を具体的な数や特性値で記述する方がよい。

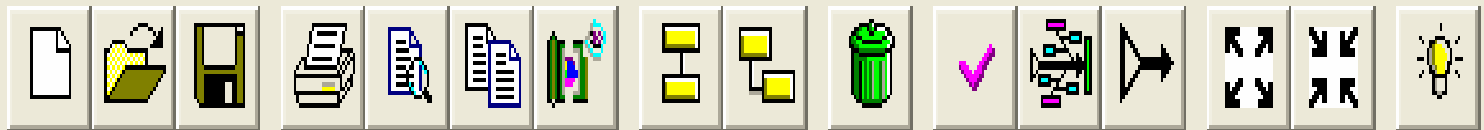
【どこが悪いのか、どこに問題があるのかで表現する】

平均的なレベルの問題なのか、ばらつきの問題なのか、突発的なものかなど特性の状態に依存した原因を洗い出す。

[参考例]

製品のばらつきが大きい。タイルの強度が低い。

書類の取り出しに時間がかかる



- 特性
 - 看護師
 - 病室に行っていない
 - 時間を忘れる
 - 教育不足
 - ナースコールの位置
 - 点滴・処置
 - 食事
 - 2次要因
 - 2次要因

自動レイアウト

解説ボタン

点滴・処置

看護師

時間を忘れる

教育不足

掲載されている著作物の著作権については、制作した当事者に帰属します。

著作者の許可なく営利・非営利・イントラネットを問わず、本著作物の複製・転用・販売等を禁止します。

所属および役職等は、公開当時のものです。

■公開資料ページ

弊社ウェブページで各種資料をご覧いただけます <http://www.i-juse.co.jp/statistics/jirei/>

■お問い合わせ先

(株)日科技研 数理事業部 パッケージサポート係 <http://www.i-juse.co.jp/statistics/support/contact.html>